

# 野菜産地における病虫害総合防除技術の確立

～高崎市特別栽培農産物の推進～

## 1 活動のねらい

群馬県では「野菜王国ぐんま」推進の中で、露地ナスなどを重点品目として位置づけ、各種事業を進めている。一方で、環境に優しい農業、安全安心な農産物生産技術の推進が求められている。こうした中で、各地域の野菜産地において、適合する病虫害の総合防除技術を推進し、産地や組織、生産者の発展支援を行う。

## 2 背景

全国で持続的農業がすすめられている中、高崎市では平成12年から独自の特別栽培農産物認証制度が始められ、定着してきた。有機質肥料の利用、訪花昆虫、フェロモン剤の利用など、総合的な技術によって、減農薬減化学肥料栽培に取り組んでいる。野菜直売所の増設や、学校給食への定期的安定供給とともに、生産者の増加が求められている。

## 3 普及活動の経過

- (1) 各産地の防除実態把握と推進体制整備
- (2) 農薬使用削減技術の推進
- (3) エコファーマーの実践活動支援
- (4) 特別栽培指標の作成
- (5) 産地のGAP取り組み支援

J Aたかさき営農部、J Aはぐくみ営農部の担当者とともに、年間の推進計画を立て、これに基づき、各種講習会、研修会、現地巡回を実施した。また、農家の実践リーダーに対し随時、情報提供や現状把握を行い、課題や問題点の検討を行った。

### 主な経過

4～5月 各J Aでの野菜講習会に併せて、農薬の安全使用や土づくりの推進、土着天敵の活用、バンカープランツの作付けなどIPM技術の活用について、また持続的農業技術などについての周知を行った。また特別栽培タマネギの現地審査を行い、栽培の状況を確認した。



特別栽培タマネギ現地審査

6月 露地ナスの現地研修会を各地で開催し、病虫害の発生生態を周知させると

もに、I P M技術の現地での活用について指導した。

7月 特別栽培の実施に向けて栽培講習会を実施。チンゲンサイ、ブロッコリー、ホウレンソウなどそれぞれの野菜の施肥体系を検討、栽培計画策定を指導した。

8～9月 露地ナスの現地研修会を各地で開催。バンカープランツの生育状況とテントウムシ、カエル、カメムシなど土着天敵の野菜講習会に併せて持続的農業技術についての周知を行った。タマネギ、チンゲンサイの特別栽培講習会を開催した。



#### バンカープランツの初期生育

10～12月 高崎市特別栽培の現地において、ホウレンソウ、タマネギなど栽培状況を確認した。特に生育に問題はなく、ほぼ順調であった。

検討会において、栽培の現状を検討した。

1～3月 来年度の露地ナス作付けに向けた検討会、講習会を開催。

#### 4 普及活動の成果

講習会、研修会の定期的開催により多数の農家に、I P M技術が理解されてきた。特にバンカープランツの導入は多くの圃場で作付けが進んだ。露地ナスの栽培技術向上に伴い品質収量が向上しており、農業経営の安定につながった。

特別栽培農産物は増加はないが、学校給食への供給として定着し、消費者代表からの理解を得た。



露地ナス現地研修会

#### 5 今後の発展方向

関係機関と連携して、高崎市特別栽培農産物の生産拡大を支援していく。また、露地ナスを中心に、I P M技術を活用した農薬削減対策を継続して指導し、地域全体への波及効果を期待する。

担当者：大野啓

関係機関：高崎市特別栽培農産物認証委員会、高崎市農協、はぐくみ農協